

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 6月 20日

事業所名 あんさんぶる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・仕切りを作り、半個室を設けている。 ・可動式の机で活動に合わせてスペースを確保している。	児童の調子が崩れたときに「安心して過ごせるスペース」を作ることに取り組んでいます。
	2 職員の配置数は適切である	7		基準配置	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		階段ではなくスロープが設置されている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		ミーティングで話し合ったりして行うよう心掛けている。	計画・実行・評価・改善に沿って、支援も話し合いも進めるよう努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		巡回支援の先生に支援を直接見ていただき、アドバイスを受け改善に努めている。	明確になった点を改善できるよう、努めてまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		会社から研修動画を教えてもらったり、自分でも探して活用している。	研修参加者がミーティングで報告し、職員全体のレベルアップに繋がります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当を決め発案し全体で検討する形をとっている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		児童が楽しみながら季節行事を経験できるようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		・長時間利用の時は、どのように過ごすかを考えている。 ・事前に活動スケジュールを決めている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			短時間勤務者や公休の職員は、タブレット(業務日誌や児童の連絡事項等)を確認し、情報収集を行っている。全職員にも情報が伝わりやすい方法を今後も考えて行きます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・当日中に口頭、LINEで報告を行っている。 早急の場合は当日に行っているが、基本的には翌日に実施している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録がとれなかった際は、報告している。	今後も日々の記録に加え、必要に応じて時間ごとの行動記録等を付けることで支援の評価や改善に繋げるよう努めて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		半年に一度はモニタリング・支援計画のための会議を行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 6月 20日

事業所名 あんさんぶる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		対応に違いがでないよう、話し合ってから対応に当たり、振り返りも行っている。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		支援は悩み等をふまえて考えているが、助言はまだ勉強不足を感じている。	必要に応じて、相談支援事業所や関係機関と連携を図り、より良いサービスに繋がるように支援を行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		保護者会等、保護者様同士の連携支援を検討して参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		・会報等の発行は行っていないが、口頭、連絡帳等で行っている。 ・毎週ブログで発信している。	
	35 個人情報に十分注意している	8			
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			絵カードを使ったコミュニケーションボードやスケジュールの提示を行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	機会がなかった。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 6月 20日

事業所名 あんさんぶる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	5			・今後も定期的な見直しを行い、職員研修 で周知していく。 ・曜日によって緊急時の動き方が変わると 思うので、普段から事前に動きを頭に入 れ、職員同士の確認もしておく事が大事だ と思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや 保護者に事前に十分に説明し了解を得た 上で、放課後等デイサービス計画に記載し ている	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	6		保護者様から報告していただいている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	8			全職員がいつでも閲覧できるようにしてい る。